

平成 27 年度「英語能力判定テスト」における 阪南中学校の結果の概要と今後の取組について

大阪市では、生徒の英語力の充実と向上を図るため、教育振興基本計画^{*}に基づき、英語イノベーション事業^{*}の一環として、「英語能力判定テスト」を実施いたしました。このテストの目的は、生徒が自らの英語力を的確に把握するとともに、学校における英語の指導の改善を図ることにあります。

学習指導要領における中学校英語の目標は、4技能（「読む」「聞く」「話す」「書く」）を総合的に活用できるコミュニケーション能力の育成と示されています。本テストで測定できるのは英語力の一部ですが、本校では、結果をふまえ、生徒の総合的な英語力向上を目指してまいります。

- 1 目 的 (1) グローバル社会において活躍し貢献できる人材の育成をめざし、生徒の英語力の充実・向上を図るため、本市教育振興基本計画に基づき、生徒に求められる英語力や学習の習熟過程等を把握・検証する。
(2) 生徒が自らの英語力を的確に把握するとともに、生徒の英語力の実態を分析することにより、各学校における学習指導の改善、工夫に役立てる。

2 対 象 大阪市立全中学校 生徒 1～3年生

3 実 施 日
・ 3年生 平成 27 年 11 月 5 日（木）
・ 2年生 平成 28 年 2 月 1 日（月）
・ 1年生 平成 28 年 2 月 5 日（金）

4 内 容

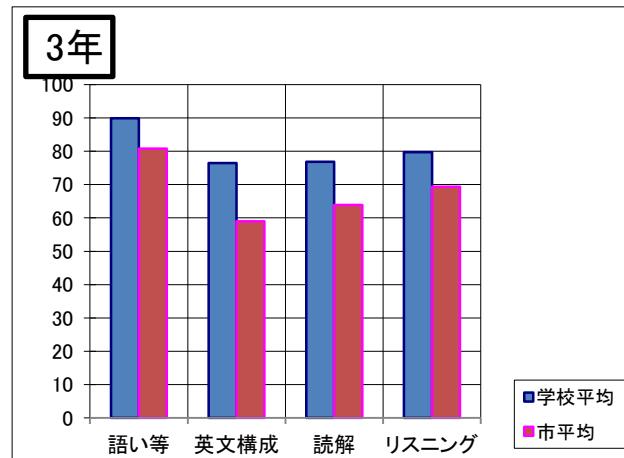
学年	テストの種類	テストの難易度	テスト内容		満点スコア
			筆記問題	リスニング問題	
3年	テストD	英検3～5級レベル	50 題	30 題	460 点
2年	テストE	英検4～5級レベル	40 題	25 題	400 点
1年	テストF	英検5級レベル	25 題	25 題	340 点

*教育振興基本計画…本市の教育振興のための施策に関する基本的な計画

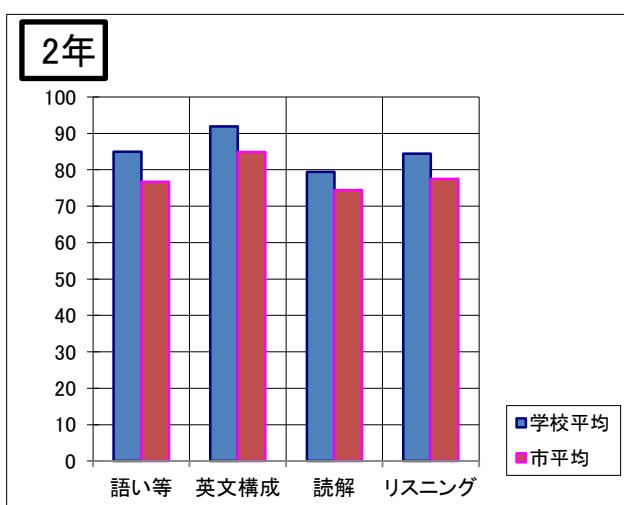
*英語イノベーション事業…本市の英語教育強化を図るための事業

平成27年度「英語能力判定テスト」結果の概要と今後の取組 阪南中学校

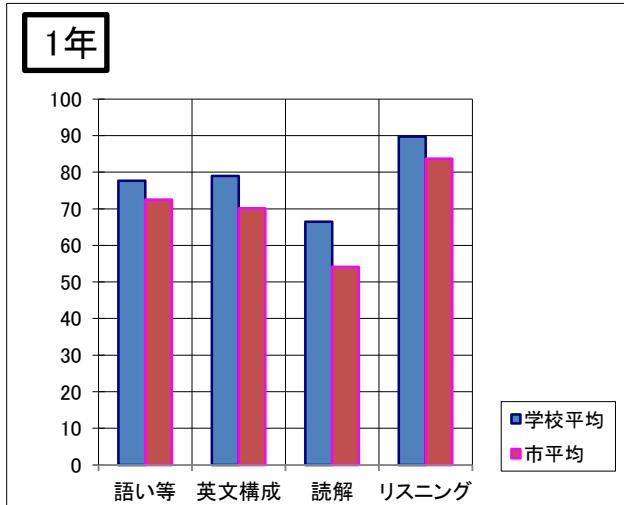
3年	語い等	英文構成	読解	リスニング
学校平均	89.9	76.5	76.9	79.7
市平均	80.8	59.0	63.9	69.4



2年	語い等	英文構成	読解	リスニング
学校平均	85	91.9	79.4	84.4
市平均	76.7	84.9	74.4	77.5



1年	語い等	英文構成	読解	リスニング
学校平均	77.7	79	66.5	89.7
市平均	72.5	70.1	54.1	83.7



結果の概要と結果をふまえた今後の取組

※各学年において実施したテストはそれぞれ種類が異なるため、学年間の正答率を比較することはできません。

3年 英検3～5級レベル:スコア 0～460点

《結果の概要》

すべての項目を通して平均12.5ポイント上回っている。特に、「英文構成」については、市平均を大きく上回っている。

《結果をふまえた今後の取組》

概ね市平均よりポイントを上回っているが、「語い等」の項目で10ポイント以上市平均を上回るよう、レッスン毎の単語テストを重点課題において取り組んでいく。

2年 英検4～5級レベル:スコア 0～400点

《結果の概要》

「語彙等」「英文構成」「読解」「リスニング」の4分野ともに正答率は市平均を上回り、「英文構成」では9割を超えている。

《結果をふまえた今後の取組》

「読解」に関して正答率が79.4%と、他の分野に比べると低い傾向にある。そのため、長文読解の演習問題など実践的な練習に取り組んでいく。また、読解速度を上げるためにも、短い英文の速読についても取り組んでいく。

1年 英検5級レベル:スコア 0～340点

《結果の概要》

「語い等」「英文構成」「読解」「リスニング」の4分野とも正答率は市平均を上っており、特に、「リスニング」においては、ほぼ9割に達している。

《結果をふまえた今後の取組》

「読解」は10ポイント以上市平均を上回ってはいるが、他の分野に比べ、正答率が低くなっている。そのため、基礎的な単語・連語の定着をより徹底しするとともに、長文の読解練習の時間を増やし、取り組んでいく。